

もくじ

- ・ フランダースのいぬ

フランダースのいぬ

げんさく： ウィーダ

イラスト： しらい ゆうこ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

ベルギーの フランダースちほうに ある、ちいさな むらに、『ネロ』という しょうねんがいました。ネロは、だいすきな おじいさんと、いぬの『パトラッシュ』と いっしょにくらしていました。

おじいさんの しごとは、むらの のうかからしぼりたての ミルクをあつめて、それをアントワープのまちへ とどけることです。ネロと パトラッシュも それをてつだい、きょうも みんなで、ミルクかんをつんだにぐるまをひいて、アントワープのまちへむかいました。

ネロは アントワープのまちを おとずれたとき、かならず きょうかいに たちよりました。そこには、ルーベンスという がかの かいた、マリアさまの えが かざってありました。ネロは えをかくのが だいすきでした。このきょうかいには、もういちまい、ルーベンスの かいた えが かざってあるのですが、おかねを はらわなければ みることができないので、まずしいネロは、まだ いちどもそのえを みたことがありませんでした。



ネロのともだちに、アロアという
おんなのこがいました。
アロアのいえは むらいちばんの おかねもちで、
むらにある おおきな ふうしゃも、
アロアのちちおや、
コゼツさんの もちものでした。

ネロは いつも、しぜんのけしきを えがいた
えや、パトラッシュの えをかいて、
アロアに みせていました。

「ネロの えは、ほんとうに うまいわ。
いつか りっぱな がかに なれるわよ」
「うん。ルーベンスのような がかに なるのが、
ゆめなんだ」

